

第3回町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会 会議録

○開催日時 2023年2月8日(水) 9:30~11:30

○場 所 町田市庁舎4階 政策会議室

○出席者 出席委員：川原晋委員長、寺田徹副委員長、石井秀幸委員、
仲村清彦委員、菊山聖哉委員、越水淳委員、
園田理恵委員、樋口健治委員、坂本愛委員
欠席委員：なし
傍聴者：なし
事務局：観光まちづくり課長
他事務局4名

○資 料

- 1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画~Ver.2~案
- 2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画(概要版)
- 3 第2回委員会の意見とその対応
- 4 計画策定スケジュール
- 5 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会設置要領
- 6 第2回町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会会議録

○次 第

1. 開会
2. 今後のスケジュールについて
3. 「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画~Ver.2~案」について
 - ・前回意見の反映について
 - ・本計画の活用方法を考えたデザインについて
 - ・車の誘導と駐車場について
4. その他
5. 事務連絡
6. 閉会

事務局より計画等の変更に関して説明を行い、以下の質疑応答があった。

- 1) 今後のスケジュールについて(事務局より)
 - ・当初のスケジュールからの変更点として、計画完成が延伸し2023年の8月

と変更になっている。理由として、庁内からより多くの委員の意見を反映した計画にすることが望ましいという意見が挙がったことがある。

- ・完成に向け、6月議会にて報告を行い、その後市民意見募集を行い、8月上旬に第4回検討委員会を開催する予定である。
- ・次回は8月と期間が空いているので、その間に委員へ計画の修正案を書面展開し意見を頂戴したい。

2)「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～案」について

①本計画の活用方法を考えたデザインについて

- ・概要版では、イメージイラストの活動と土地との繋がりが分からない。例えば、四季彩の杜全体の鳥観図を追加し、イラストと紐づけて表現することはどうか。
 - ・場所との紐づきを示してわくわく感が表現できるとよいと思う。
 - ・概要版は考え方を示す文が少ないので、基本理念を簡略化した文を記載できないか。
 - ・本編の「はじめに」に、市のメッセージが表されている。分量としても適切であるため、この文を概要版に追加してはどうか。
 - ・概要版表紙は市民公募による四季彩の杜のロゴを大きくし、アピールしてほしい。また、表紙地図は、本編 P.22 等を利用してはどうか。
 - ・イラストについて、テイストが古く感じる。
 - ・本編 P.22 等の施設間ルートについて、ダリア園に向かうルートが1シーズンしかなく孤立しているような印象である。
 - ・全体をつなぐ施設間ルートを薄く記載し、季節ごとの推奨ルートは着色する等を修正してはどうか。
 - ・本編 P.22 以降の季節ごとのページは、例えば「春の魅力・資源とアクティビティ」等の見出しを追加したほうが良い。
 - ・南園と七国山は、特に目立った整備が行われない印象である。
 - ・南園は林床植物の保全の取組があるが、加えて、それを楽しむ取組があると良いのではないか。
 - ・南園は、環境や生態調査を実施すべきと考える。周辺の開発等により環境が変わり、以前からある植物が現在の環境に適していない可能性もある。計画期間内に調査を実施し、ポテンシャルを再評価してはどうか。
 - ・参考となる取組として、最近では各地で市民参加型の調査が行われている。
 - ・南園はたぬきやハクビシンも生息している。植物以外にも調査対象とするべきである。
 - ・南園の価値を計画書でより示せるといいと思う。
- 本編 P.48「未来への継承」に反映することを検討する。(事務局)

②車の誘導と駐車場について

- ・西園の駐車場出口が狭く、不便であるとの市民の声が多い。
- ・そのような意見から、出口付近は普通車ではなく軽自動車の駐車マスとすることで空間を広くし、運用面で工夫している。駐車台数を最大限確保するためだと思うが、可能であれば改善できないか。
- ・駐車場について、薬師中学校等の敷地利用は検討するのか。
→検討は進めたい。しかし、現状では、駐車場が満車になるのは年間で数時間だけである。利用の平準化により、現在の駐車場不足へはある程度対応可能であるが、計画目標の来園者数は現在より多いため、駐車台数等のシミュレーションが必要であると考え。（事務局）
- ・若者は車を持たず、主な利用手段は公共交通であるので、駐車場を増やさない方向もある。現在、日常的には駐車場に余裕があり、駐車場不足が常態化している問題はないエビデンスを示すことが必要である。
- ・エビデンスを示すことで利用者の印象が変わる。数時間なら日常はイベント等の広場として活用しピーク時に臨時駐車場として使う等も考えられる。
- ・西園はカフェ等の夜間営業があるが、夜間は駐車場がほとんど使われていない。利用者の平準化という観点で、利用者の少ない夜間利用を促進したい。夜間のバス運行が少ないため、市から交通事業者に働きかけを行ってほしい。
- ・バス会社は運転手不足や高齢化問題を抱えていることから、利用者が少ない時間帯のバスの増便は難しいのではないか。
- ・本編のコラムは町田市としての車の誘導と駐車場に関するポリシーを示す項目ではないのか。今の内容はポリシーではない。
- ・交通の課題は、本計画だけでは解決できないので、四季彩の杜としてのポリシーをコラムで示せるといい。

③計画全体について

- ・薬師池より四季彩の杜の知名度の低いことが大きな課題である。
- ・表紙の計画名「薬師池公園」は小さく表示し、四季彩の杜を際立たせてもいいのではないか。
- ・本編「ブランド・アイデンティティ」は、否定的な内容が多いが、取組により西園は開園以降来訪者が増加していることを反映できないか。
- ・駅前のデジタルサイネージに四季彩の杜のロゴが登場しない等のアピール不足を感じる。市は、今後四季彩の杜のマーケティングなどブランディングに係る予算を確保したほうが良い。また、基本方針でブランディングについて受け止めていないので、今後のブランディング戦略の項目を立てた方が良い。実際には専

門のコンサルタントが行う分野である。

- ・本編「魅力・ポテンシャル」P.9 は数値で表すことができないものだが、計画の目標は数値指標で推し量れるのか。

→市の説明責任として、数値は必要な材料と考える。(事務局)

- ・指標はあくまで目標ではなく目標達成の状況を示すものとの位置づけになっている。

- ・現在開催している観光コンベンション協会と市による謎解きゲームでは購入すると地域のクーポン券が含まれている。地域の店舗に足を運ぶようなソフト面でも取組は重要である。

- ・基本方針2と関連するが、地域の価値を高めるコンテンツ作りは非常に重要である。

- ・子どもの遊びの場は必要だが、「遊び」とすると「遊具やアスレチック」が連想されてしまうので、学びや体験のキーワードが良いと思う。遊具ではなく、この場にあるものを使って楽しむ場、大人も子供も時間を過ごせる場とした方が良い。

- ・実際に西園で落ち葉プールをしたときは3時間で約100名参加があり、かなり盛況した。遊具がある街区公園と差別化も図れる。

- ・町田市の樹木は天然林ではなく人工林であるため、定期的な伐採などの維持管理が不可欠である。ナラ枯れ病も若い樹木はかかりにくい。

- ・樹木を伐採する体験とその木材を使ったクラフト体験など提供できないか。

- ・農や里山という遊びながら実験する場という位置づけはどうか。

- ・中学生の職場体験で木を伐採、木材の細い部分でシイタケ栽培、太い部分で家具製作等の体験を提供したいと個人として現在考えている。

- ・このような取組をする地域の方を市が支援する体制を計画で示せないか。

- ・本編「推進体制図」P.50 は包括エリア指定管理者が大きく示されているが、地域住民の表現を工夫することで表現できるように思う。

- ・推進体制図で「地域住民」とすると個々人のように感じるが、地域のチーム等をサポートメンバーとするようなイメージが近いように思う。

- ・イラストについて、アスレチックではなく、夜間利用や落ち葉プールなどの自然の遊びの表現がいいのではないか。

- ・アスレチックは現地見学会の意見交換の意見だと記憶している。

- ・南園は調査がされておらず、検討は未熟な段階であり、今回、具体的な案を決めるのは難しい。

- ・アスレチックは、例えば、南園・北園を想定したワークショップをするイラストにしてはどうか。アスレチックを描くのであれば、参加者に吹き出しをつけて、「みんなで自然の中で体験・遊びを考えていく」として、アイデアの一つとして

表現すると良い。

- 本編「計画の工程表」P.46 で北園は早期に設計がスケジュールとして示されているが、検討・調査を入れてもよい。意見公募等の利用者意向を反映すべきではないか。

- 本編 P.34 のデイグランピングのイメージがあるが、普通の公園やキャンプ場とは違うことを示せないか。ツリーハウスや森の中の方がイメージに近いように思う。

- 適切な写真がなければ、キャプションによる説明追加が考えられる。

- 地元意見として、雑木林をきれいにするなど環境を整える必要があると思う。

- 下北沢や横浜では、市民の楽しみの活動として、植栽等が管理されている。事例を参考に管理方法を検討したほうが良い。

- ツバキ園の花が咲かない状況を改善するため、以前、公園緑地課が管理のために木々を伐採したが、理解を得られずに苦情が殺到し、途中で中止になった。雑木林の管理について理解を求めるキャンペーンが必要である。

- 伐採で雑木林を若返らせることがナラ枯れ病への対策であるが、モデルがないので理解が進まない。八王子の長池公園ではモデル地区で取組を実施し理解促進につなげている。四季彩の杜では北園がモデルになるのではないか。

- 雑木林の若返りが必要であること、伐採による管理は公共性のある取組であることを計画に示せないか。

- 本編「基本理念」P.19 について、四季が織りなすを「四季を彩る」に、薬師は平仮名の「やくし」に変更できないか。

→基本理念に基づいて、取組等を検討していることから、理由がないと変更することは難しい状況にある。(事務局)

- 計画名が長く行政的であるが、計画名称は変更できないのか。

→計画名については、変更が可能である。(事務局)

- 基本理念が変えられないのであれば、今後のブランディング戦略で外部に発信するメッセージを作っていけないか。次年度、パンフレット作成に向けてブランディング戦略を考えて検討が必要である。また、表紙は、四季彩の杜のロゴを大きくし、より良い写真を各委員に提供してもらえるとよい。表紙のデザインを議論で決めることは難しい。最後はデザイナーに構成してまとめてもらうのが望ましい。例えば石井委員にグリップしてもらい、進めていくことも考えられる。ブランディングの取組については私が協力することができる。北園・南園の保全・モニタリングについては寺田副委員長に協力頂いて、半年間を有効に使うことが大切である。

3) 事務連絡 (事務局より)

- 資料 5 として検討委員会の設置要領を配布した。計画の策定期間が延びたため委員の委任期間の延伸を行い、それに伴い、設置要領の変更を行った。
- 第 4 回委員会：2023 年 8 月上旬予定

以上